埼医業Ⅲ第３９３号
令和７年５月１９日

各郡市・大学医師会長　　殿

埼玉県医師会長　金　井　忠　男
（公印省略）

「災害用伝言ダイヤル１７１啓発リーフレット」の日医雑誌５月号同封について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、日本医師会から標記の件について、通知がございましたので貴会におかれましてもご了知いただき、関係機関等への周知方にご高配くださいますようお願い申し上げます。

なお、本文につきましては、「日本医師会 都道府県医師会宛て文書管理システム」（下記 URL）にアクセスの上ご参照ください。

【日本医師会 都道府県医師会宛て文書管理システム URL】
（https://www1.med.or.jp/japanese/joho/prefmed/）

記

「災害用伝言ダイヤル 171 啓発リーフレット」の日医雑誌５月号同封について
（令和７年５月１日付　日医発第２３１号（地域））

担当：業務課　業務Ⅲ担当　川島
電話：０４８－８２４－２６１１

日本医師会第231号(地域)

令 和 7 年 5 月 1 日

都道府県医師会　担当理事　殿

公益社団法人　日本医師会

常任理事　細川　秀一

(公印省略)

「災害用伝言ダイヤル171　啓発リーフレット」の日医雑誌５月号同封について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、日医雑誌５月号に「災害用伝言ダイヤル 171　啓発リーフレット」（Ｂ５版）の同封を行いましたので、ご参考までに貴会宛ご連絡を申し上げます。

災害用伝言ダイヤル（171)、災害用伝言板（web171）は、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった際に、電話やインターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。

大規模自然災害発生時において、被災地内、被災地外からの被災地の家族や知人の安否確認に有効な手段とされ、特に帰宅困難者対策として、一斉帰宅の抑制にも必須の要素とされておりますが、依然として国民の関心や認知が十分ではないことから今般の周知啓発がなされております。

同リーフレットのデータについては、日本医師会会員限定メンバーズルームのトップページ、定期更新「日医雑誌･日医ニュース同封物リスト」からもダウンロードが可能ですのでご活用ください。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【参考】

総務省ホームページ「災害用伝言サービス」

https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/dengon.html

命を守るために、通信を守る

被災地への直接電話は通信網を圧迫します。

安否確認は
災害用伝言ダイヤル171で。

災害用伝言ダイヤル171の使い方



後援 総務省 Ministry of Internal Affairs and Communications / 内閣府（防災担当） Cabinet Office / ひと、くらし、みらいのために 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare / 国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism / 警察庁 National Police Agency

FDMA 住民とともに 総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency / JMA 日本医師会 Japan Medical Association / 公益社団法人 日本薬剤師会 Japan Pharmaceutical Association / 一般社団法人 日本保険薬局協会

協賛 KIRIN / NIPPON EXPRESS / alfresa group

災害用伝言サービス周知啓発事業

事業主体　特定非営利活動法人日本ソフトインフラ研究センター

●**「避難行動要支援者」の方々を地域のみんなで支えよう！** 今、自治体では、地域の民生委員・自治会・町会等と協力して、高齢者の方や障がいのある方の「個別避難計画」作成を進めています。地域全体で要支援者を支える仕組み作りに、あなたも参加しましょう。（※詳しくは「お住まいの自治体」＋「個別避難計画」で検索）